

長寿の湯が再開に至る経過について

1 長寿の湯が休業に至った経過

長寿の湯は、平成10年4月に営業を開始しました。コロナ禍で落ち込む時期もありましたが、概ね年間約10万人の利用があった施設でした。

令和4年度に全庁的な事務事業の見直しを実施し、将来的な財政負担の軽減等を理由に、令和6年度末で市の管理運営を終了し施設は休業しました。

休業に際して、令和6年12月に利用者を対象に説明会を実施しました。以降、施設休業に至る経過等情報発信に努めてまいりました。

2 長寿の湯の再開のための民間事業者の選定

令和6年4月から、今後の長寿の湯の活用のため、多くの民間事業者とサウンディング調査（意見聴取・アイデア調査）等を実施しました。

当調査結果や興味を持った事業者との協議を重ねる中で、民間活力や工夫を取り入れることで、市の負担を抑制しながら、官民連携や地域連携を取り入れた、より魅力的な施設として再開するといった「長寿の湯」の活用方法について整理ができたことから、令和8年1月にプロポーザル方式（価格の他、提案内容を総合的に審査する方法）による事業者の公募を行い、選考の結果、株式会社ゆつむぎが選定されました。

事業者選定に係る情報は、市のホームページで御確認いただけます。

3 現在の長寿の湯について

令和8年3月定例会議にて、株式会社ゆつむぎに公共施設等運営権（施設は市が所有したまま、運営を民間に任せる仕組み）を設定する議決を受け、令和8年4月、市と株式会社ゆつむぎは今後の運営に係る実施契約を締結しました。

現在、長寿の湯は、株式会社ゆつむぎが施設をリニューアルしており、新たな営業形態で令和8年7月26日（日）に再開する予定です。